平成 24 年 6 月 28 日　No. ３８

総合学習センターだより

発 行 ： 相 模 原 市 立 総 合 学 習 セ ン タ ー
〒252-0239 相模原市中央区中央 3 丁目 12 番 10 号
ＴＥＬ０４２（７５６）３４４３
ＦＡＸ０４２（７５８）８１４６
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.sagamihara-kng.ed.jp

「学ぶ」ということ

たとえば、ここから ・・・ 総合学習センター・ホームページの向こうに広がる学びの世界

総合学習センター所長　金井　秀夫

学びはじめ・・・

人は生まれると同時に（「胎教」も含めると、生まれる前から？）自分を取り巻く周囲の世界にふれ、新しい知識、感覚、考え方・・・様々な事柄を学んでいきます。人との関わりの中で、生活のあらゆる経験を通して、自分をどんどん成長させていきます。

学校で・・・

学校で行われる教育は、体系化されたカリキュラムに基づいて意図的・計画的に行われるものであります。生きていく（単に「生活する」だけではなく）ための基盤となる基礎的・基本的な知識や技能、考え方などを学ぶことにその意義の一つがあります。教育をとおして、自分が直接経験すること以外に、もっと広い世界があること、抽象化された概念があること、などを知ることになります。

しかしながら、学校で学ぶことは、「それはそれ」として受けとめられ、単なる知識として終わってしまうか、もしかしたら知識としてすら留められない、ということも少なからずあるのではないでしょうか。

教師が何とか「教えたい」と思ってもそれだけでは十分でなく、学習者自身の「学びたい」という意思が、何かを自分のものにするためには不可欠です。

学校では今、その「学びたい」という意欲を掘り起こすこと、学びたいと思ったときに自ら先に進んでいけるよう「学び方」を身に付けさせることが改めて大切にされ、取り組まれているところです。

卒業・・・？

さて、やがて学校を卒業。
学ぶことはここでおわり・・・？

これは全く賛意を得られそうもない問いですね。むしろ、「ここからだろう。」との声がたくさん聞こえてきそうです。

学びを支えるものが「学びたい」という意欲だとしたら、その気持ちを持ち続ける限り、生涯「卒業」はない、ということでしょうか。

あるとき、こんな言葉に出会いました …

**「私は常に学んでいる。
墓石が私の卒業証書だ。」
（アーサ・キット）**

総合学習センターでは・・・

- **相模原の子どもたちに豊かな教育を**
- **市民の方々の「学びたい」に、その場と情報を**

と願い、様々な取り組みをし、その窓口を設けています。

私たちのホームページもその一つです。ホームページにあるそれぞれのボタンは、生涯学習や学校教育に関わる様々な世界につながっています。ぜひ一度その扉を開いてみてください。

おわりに・・・

**「教えるとは、ともに希望を語ること
学ぶとは、誠実を胸に刻むこと」
（ルイ・アラゴン）**

総合学習センター・ホームページ TOP ページ

生涯学習支援

市民大学開講

【市民大学】とは、昭和４０年に相模女子大学の協力を得て開設して以来、長い歴史を持つ事業です。豊かな学習の機会として、市内・近隣の高等教育機関の協力のもと、大学・相模原市教育委員会・座間市教育委員会の三者共催で講座を開催しています。会場はそれぞれの学校（大学によっては公共施設もあり）で、講師には各学校の先生を迎え、学校の特色を生かした多彩なプログラムになっています。

☆☆参加学校（１７校）☆☆

相模女子大学、麻布大学、職業能力開発総合大学校
和泉短期大学、女子美術大学、北里大学
総合電子専門学校、桜美林大学、青山学院大学
多摩美術大学、東京家政学院大学、東京女学館大学
法政大学、総合研究大学院大学
サレジオ工業高等専門学校、玉川大学、和光大学
＊今年度より和光大学が新規参加となります。

☆☆☆☆☆申し込みは年２回です　☆☆☆☆☆

①前期（７月～９月開始の講座）
②後期（１０月以降の講座）

申し込み先はさがまちコンソーシアムです。

生涯学習相談

★生涯学習相談とは！

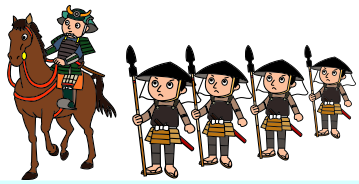
すべての人が生涯にわたって、自ら主体的に学習することを生涯学習と呼んでいます。

総合学習センターでは生涯学習推進員が、「余暇を利用して何かしたい、資格をとりたい、自分の趣味を活かすサークルに入りたい」などの生涯学習に関する相談を随時受け付け、市民のみなさんの生涯学習のお手伝いをしています。

また、内容によっては総合学習センター全体で対応します。

生涯学習推進員がお手伝いします！

受付時間：開所日の午前９時から午後９時30分
受付場所：総合学習センター１階学習相談窓口へお越しいただくか、電子メールまたは専用電話で。
電子メール：silc@sagamihara-kng.ed.jp
専用電話：０４２－７５６－１２２３



市民大学「総合学習センターコース」開催予定

今年度も市民大学・後期に総合学習センターコースを開講します。

昨年に引き続き、「『甲州街道をゆく』２～語り継がれる吉野宿と関野宿編～」を１０月２０日（土）より毎週土曜日（１１月３日を除く）全４回で開催いたします。

相模原の北部を五街道の一つの甲州街道が通っています。甲州街道は交通の要所であるばかりではなく、江戸期の徳川幕府の防衛上の重要な道であり、経済流通にとっても重要な道でした。

司馬遼太郎著の「街道をゆく」の甲州街道編では、新宿から八王子小仏峠までの武蔵野が舞台ですが、本講座は小仏峠から先、相模の国の吉野宿から関野宿（昨年は小原宿から與瀬宿まで）の甲州街道を地元の人とのふれあいの中で学びます。

今年度も甲州古道のフィールドワークも含まれています。「聞く」・「調べる」・「訪ねる」を通した学習の機会をお楽しみに♪♪

生涯学習お役立ち情報

「生涯学習お役立ち情報」とは、市役所や公益法人、官公庁等の行う事業の中で市民の皆様の学習機会として役立ていただけるものを、「いつでも開催、毎月・隔月開催」のコーナーと「年間予定表」でご紹介している印刷物です。

現在「平成２４年度版」を作成中です。

完成後は、市内の各公共機関などで閲覧できます。「いつでも開催、毎月・隔月開催」のコーナーでは、１年間のうち随時・定期的に開催（受付）するものを集め、「年間予定表」にはジャンル別・開催予定月別に催し物を掲載予定していますので、ぜひご活用ください。

◆「生涯学習お役立ち情報」に掲載されている事業の中で、詳しい内容や、お申込みの時期・方法などは直接問い合わせ先にお尋ねください。

◆実際に開催される月などは変更になる可能性もあります。

市民講座「学びのらいぶ塾」

市民講座「学びのらいぶ塾」とは、市民の方々が今までの経験や学んだ知識を生かし、市民自らが主体となって講座の運営も講師も行うものです。その中では、市民講師として講座の運営や、コーディネートの方法について学ぶ「研修講座」と、研修講座修了生による「講座の実施」を「学びサポート研究会さくらの森」と協働で行っています。

この「学びのらいぶ塾」も今年で４年目を迎え、現在は今年度の「研修講座」と、研修講座修了生による「学びのらいぶ塾　春講座」が展開されています。

平成 24 年度(４期生）研修講座　始まる！

平成２４年度の研修講座が５月１６日から始まりました。今年度は１５名の方が参加しています。

研修講座は、研修編と実践編に分かれており、研修編として、５～７月までの間に、講座の企画・運営方法などについて学び、実践編として、秋（１０月）に実際に講座を開催します。

今回も多種多様な知識・経験・特技をお持ちの方が多く、秋講座はさらに講座の充実が図られる

研修講座

講座風景

春講座

講座風景

ハーブでいきいき
春のレッスン

外部講師招聘企画
ヘアカット

おかげさまで･･･　春講座　開講中！

既に研修を終えて、市民講師として活躍している方々による、『春講座』が現在も開催中です。

今回、１度の募集としては過去最大数の１６講座を企画しました。

また、新たな取り組みとして、外部施設での開催と、長期講座を実施しました。

どの講座も大変盛況で、メンバーの大きな励みとなっています。

夏講座　募集中！親子教室もあります！

６月１日より、『夏講座』の募集が始まっています。講師・運営陣は春講座を開催しているメンバーです。すでに１回目の締め切りは終了していますが、まだ申し込みができる講座も多数ございます。

特に「夏休み親子教室」は小学生のお子さんを持つ保護者の方は必見です！詳細については、募集案内、または総合学習センターホームページなどでご確認ください。

夏休み親子教室（7/10　締め切り）

講　　座　　名
・親子で楽しむ夏休み論語教室
・ハーブでいきいき　夏休み親子教室
・ハーブでいきいき　夏休み親子教室（会場：ソレイユさがみ）
・キッズのヘアカット術
・“色”で遊ぼう

その他講座（7/31　締め切り）

講　　座　　名
・はじめてのマティス体験教室
・文字の癖を直しませんか（書道）
・中学の国語に見る日本の古典
・パソコンで“荒城の月”を
・楽しい俳句入門講座
・納涼俳句大会

～予告～

９月１日には『秋講座』として今回と同程度の数の講座を募集する予定です。
秋講座には、現在の研修講座の受講生も、講師・運営陣に加わり、さらにパワーアップします！

学社連携・協働の動き　PART32

「津久井中央小学校の取り組み」

学校と地域をつなぐコーディネーター

津久井中央小学校は、平成22年度より教育委員会の委託を受け学校と地域の協働推進コーディネーターを設置しています。

津久井中央小学校のコーディネーターは、日頃からまちづくりに関する地域の会議や学校行事に関わり、学校を支えてくださっている二瓶次夫さんです。地域の声を学校につないだり、学校の様子を地域につないだりする役割を担っています。

恵まれた自然環境を生かす教育

津久井中央小学校は、「山と川のある豊かな自然の中にある。この自然を生かした教育をするためには地域の教育力を用いることが大切である。」という考えのもと、様々な取り組みを行っています。

道志川なごやか写生大会、道志川あゆまつり、道志川写真コンテスト、ホタル祭り、中央地区体育まつり及び中央祭(文化祭)、交通安全ボランティアの会等、二瓶さんが、学校と地域の連携に関する諸会合に参加したり、地域行事の視察や情報交換をしたりすることで、学校が地域の行事を周知し、多くの子どもたちに地域行事の参加を促すことができ、学校と地域が一体となって事業を進めることができています。

また、4年生の総合的な学習、3年生の校外学習、クラブ活動等で場所や人材をコーディネートをしたり、学校支援ボランティアとして学校農園の整備や子どもたちにアドバイスをしたり、二瓶さんは、様々な活動に率先して取り組んでいます。

朝会でお礼の会（校長室だよりから抜粋）

3月14日に津久井中央小学校の体育館で学校支援ボランティアのみなさんに感謝を伝える会が開かれました。始めに学校と地域の協働推進コーディネーターの二瓶先生からお話をいただき、みんなが心をこめた感謝のお手紙を代表のお友だちがボランティアのみなさんにお渡ししてから、ボランティアのみなさんからもお話をいただきました。大勢のボランティアのみなさんに全校のみんなで大きな声でお礼を言いました。

さがみはら教育１５３号９月下旬発行予定

学校と地域の連携・協働は今！

～ 学校と地域の絆をさぐる ～

東日本大震災の発生により、多くの学校が避難所となり、学校が子どもの学びの場としてだけではなく、地域社会を離れては存在し得ないものであることが再確認されました。

また、近年の急激な社会変化の中で、教育を取り巻く環境も大きく変化しており、学校と地域の連携の必要性が随所で聞かれます。

さがみはら教育１５３号では市内小・中学校の児童・生徒、教員、保護者へのアンケートにより「学校と地域の連携・協働」の現状を明らかにするとともに、学校と地域の望ましい絆を探り、「学校と地域の連携・協働」のあり方について考察していきます。

講座事業

桜まつりライブ開催しました！

４月８日（日）市民桜まつり２日目に、総合学習センター4 階大会議室にて「桜まつりライブ」が開催されました。このライブは、音楽を通じた市民ネットワーク作り等を目的に集まったメンバーにより実行委員会が組織され、数回に渡る準備委員会を経て当日を迎えました。

昨年は東日本大震災の影響により中止となったため、2年ぶりの開催でしたが、出演した10代から50代までの13バンドは、それぞれが個性あふれる演奏で来場した延べ315名の観客を楽しませました。

出演者からは「世代を超えて新たな仲間が増えたので、この出会いを大切にしていきたい」「皆で行うことで、人との関わりが感じられるライブができた」等の感想が寄せられました。

情報教育の推進・学校の情報化

総合学習センターの施設利用時 パソコンが無料で利用できます

総合学習センターでは、利用者のＩＣＴ技能向上を支援するため、ＩＣＴ講習会などで利用するノートパソコンの所内貸出しを行っています。貸出しの際の使用料は無料です。(施設利用料は別途かかります)

サークルや団体等でパソコンの講習会を開催したい場合、パソコンを利用した研修を行いたいときなどにご使用いただけます。

講習または研修の目的での使用に限ります。

プロジェクターも無料で貸し出しします。
１階ラウンジでは、インターネット閲覧体験用のパソコンが利用できます。

生涯学習まちかど講座 情報モラル

「子どもたちがインターネットを利用する時、どのような危険性があるの？」「保護者としてどんなことに注意して子どもたちに携帯電話を使わせたらいいの？」

総合学習センターでは、地域の要望に応じて、情報モラルなど様々なテーマに対して「生涯学習まちかど講座」を開いています。市内に会場を用意していただければ、職員が講師となって出向いていきます。詳しくは窓口までご相談ください。

総合学習センターでは、学校裏サイトや問題のあるプロフサイトを監視するネットパトロール行っています。

情報セキュリティ監査

相模原市では、市内小中学校の情報セキュリティ対策の遵守状況の点検・評価や教職員の情報セキュリティ意識の向上を目的とし、平成２３年度より情報セキュリティ監査を実施しています。

相模原市では、学校にある個人情報に関する電子や紙媒体の情報資産に対して、安全に運用するための規約として相模原市学校情報セキュリティポリシー（以下セキュリティポリシー）を策定しました。（平成１８年６月）

例えば、教職員の利用する機密情報（児童・生徒の個人情報や法令等で作成が義務付けられている記録）は、校務サーバの暗号化されたフォルダに保存する。校務サーバのファイルは、パスワード設定によりアクセス制御を行うなどです。

平成２３年度は、市内１８の小中学校を対象に監査を実施しました。監査方法は、書面監査（全校）と実地監査（抽出校）です。また、同時に情報セキュリティ研修を実施し、セキュリティポリシーの理解やパスワード設定の実習などを行いました。

平成２３年度の監査の結果、すべての対象校で情報セキュリティ対策の遵守状況が改善されました。また、パスワード管理の徹底など教職員の意識の向上が見られました。

平成２４年度は、１９校を対象に同様の監査を実施します。今後も学校の情報セキュリティ向上のために取り組んでいきます。

「さがみ風っ子教師塾」第３期卒塾式

６月９日、「さがみ風っ子教師塾」第３期生７１名が、９ヶ月間、全２０回の学びを修了し、卒塾しました。卒塾式では、厳粛な雰囲気の中、的川塾長はじめ、中村市議会議長、小林教育委員長職務代理者から温かく、力強いお言葉をいただき、塾生たちは、門出に際し深く心に刻んだと思います。

塾生代表は、「今後は一人の人として、また教師として『人が財産（たから）の相模原』にふさわしい児童生徒の人間性も共に育てていける教師を目指し、探求心をもち学び続けていきたいと思います。」と誓いを述べていました。

塾生は、これまでの塾の学びを活かし、小中学校の教師を目指し、教員採用試験に臨みます。卒塾生のこれからの活躍に期待したいと思います。

また、１０月からは、第４期教師塾を開塾します。相模原で教師をと考えている方、是非教師塾で学びませんか。

教師塾を振り返って～塾生の感想から～

☆この塾に入らなかったら、「教師になること」をゴールにしていたと思います。ここで「どんな教師になりたいか、どんな子どもたちを育てたいか」を考えることができました。

☆一緒に頑張れる仲間が出来たこと、温かく厳しい先生に恵まれたこと、様々なことを学ぶことができたこと、全てに満足しています。

☆入塾の時は、気持ちの整理がつかず、教師になることに迷いがありました。９ヶ月後の私は教師が自分に一番向いている仕事だと思っています。

☆教師という仕事のやりがい、素晴らしさを再確認することができました。「どうして教師になりたいのか、教師になって何をしたいのか」を明確にすることができたと思います。

ただいま第４期生募集中！

応募期間　　６月１日（金）～７月３１日（火）

詳しくは、総合学習センターホームページをご覧いただくか、直接電話でお問合わせください。

電話　０４２－７５６－０２９０　　教師塾事務局　担当まで

教職員向け研修講座

★　金環日食に向けた研修講座《報告》

平成２４年５月２１日（月）朝、相模原市では、金環日食の中心線に近い理想的なロケーションにあるため、午前７時３０分頃から５分程度にわたって理想形の金環日食が観測されるだろうという期待の中、多くの小学校で観測会が予定されていました。一方で、太陽を裸眼で見るなど不適切な方法で観察することにより児童・生徒が網膜症になるなどの被害も懸念されたので、相模原市立総合学習センターでは市内小中学校教員向けの研修講座を相模原市立博物館で４月２３日（月）に実施しました。内容は、金環日食の安全な観測方法、専門家による日食や太陽についての解説、学習プログラムや各学校での指導資料の提供等でした。

また、この研修は宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）と連携して実施したので、研修当日は同教授の阪本成一理学博士をはじめ、ＪＡＸＡの理学博士数名による講義をしていただき、大変充実した内容となりました。

金環日食当日は天候も心配された中、わずかな時間でしたが、太陽が雲間から顔を出し、金環日食を観測することが出来ました。観測中における児童生徒の安全も図られた中、感動的な体験ができたのではないかと思います。

★ 市民公開講座「夏場における安全対策」《報告》

６月８日（金）に七沢リハビリテーション病院脳血管センター・病院長　山下　俊紀　氏をお迎えして熱中症の事故防止について、講義をしていただきました。

熱中症の原因から、予防・対応策まで分かりやすくお話していただきました。

受講者からは「危険というと、けがを連想していたが、水分補給という面での危険への対応の意識が高まった。」という声も聞かれました。

本格的な暑い夏を迎える前の公開講座でしたので、夏場を安全に過ごすための参考になったと思います。

★　５センター連携相互補完研修

神奈川県では、神奈川県立総合教育センター（神奈川県立国際言語文化アカデミアを含む）、横浜市教育センター、川崎市総合教育センター、相模原市立総合学習センター、横須賀市教育研究所の５センターで研修の相互補完を行っています。

研修の詳細は各センターのホームページをご覧ください。

ご活用ください！　総合学習センター3階

図書室・資料室・教科書センター

図書室では、学校現場や子育てに役立つ教育関係や生涯学習関係の図書を中心にそろえています。

市内の図書館や公民館図書室と共通の貸出券で、貸出し・返却ができます。

月曜から金曜日は９：００から２０：００まで
土・日曜日・休日は９：００から１８：００まで
開室しています。

教科書センター（図書室内）では、小学校・中学校・高校の教科書見本を閲覧できます。

資料室では、市内外の教育諸機関からの研究紀要や研究資料など、教育情報を閲覧することができます。

ご利用方法等、お気軽にお問い合せください。

新着図書案内

☆『アニメで読む世界史』
　　藤川隆男著／山川出版社
☆『できる！を伸ばす弁当の日』
　　竹下和男著／共同通信社
☆『学級づくりの教科書』
　　有田和正著／さくら社
☆『運動会の準備から本番まで』
　　古井邦一（市立星が丘小学校長）著／小学館
☆『こどもを蝕む空虚な日本語』
　　齋藤浩（市立中央小学校教諭）著／草思社

利用者用検索機、図書館ホームページから、書名・著者名・キーワードで検索できます。予約し、受取館を総合学習センターに指定すれば、センターご利用の‘ついでに’図書が借りられます！

第46回教育研究発表大会

平成２４年８月１日（水）

ともに見つめ、ともに創る子どもの未来

８月１日（水）に、第４６回教育研究発表大会を開催します。全体会・記念講演会は、相模原市民会館大ホールにて１０時から、午後１時からは総合学習センター及び周辺の１０会場で分科会を行います。さまざまな立場で本市の子どもの教育に取り組む方々が、研究・研修・活動実践などの発表や意見交換を行います。

未来を担う子どもたちの健やかな育成のため、お互いの役割や協力についてともに考え、思いを語り合い、伝え合う機会です。

市民の方の参加も可能です。ぜひご参加ください！

記念講演会

「世界の山々をめざして」

登山家

田部井　淳子　氏

世界の・日本の山々を登り続けている田部井さん。

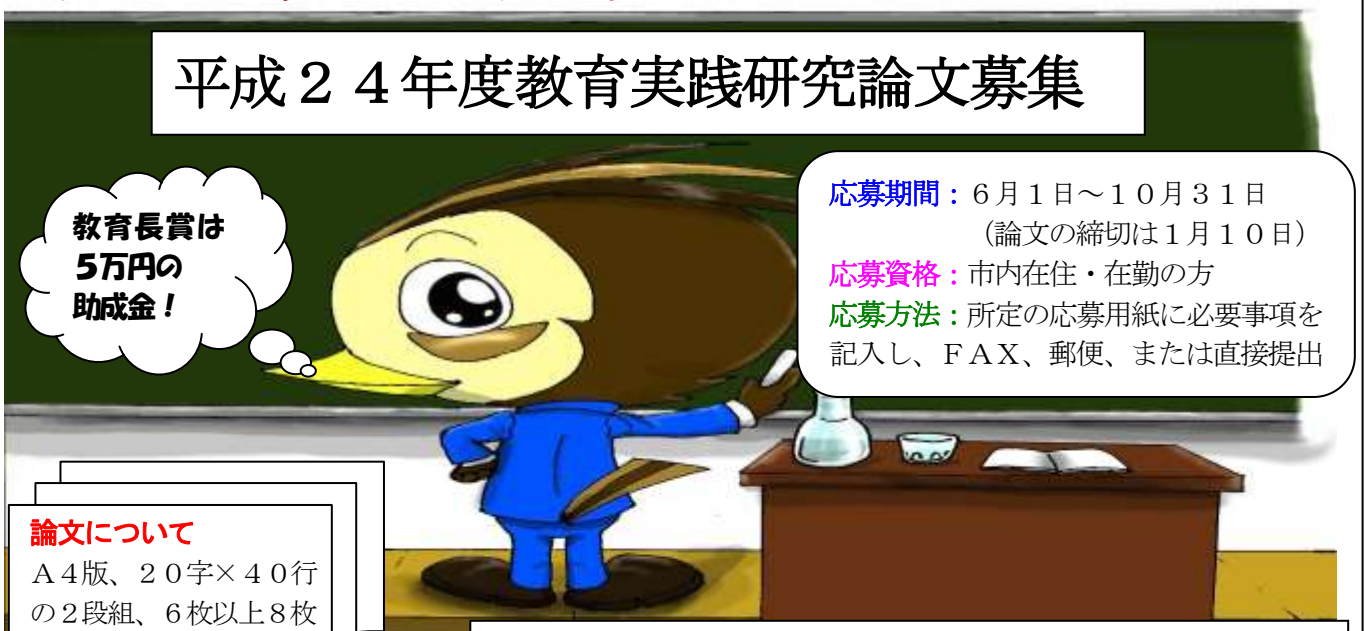
１９７５年に世界最高峰エベレスト、１９９２年に世界７大陸の最高峰登頂にいずれも女性で初めて成功されました。

登山家として、夢を追い続けながら実現させてきた多くのご経験や、“積み重ねることの大切さ”と“挑戦する楽しさ”について存分に語っていただきます。

会　場：全体会・記念講演会　　相模原市民会館大ホール　１０：００～１２：００
　　分科会　　総合学習センター　他　　１３：００～１６：３０
＊１０分科会で学校教育、幼児教育、社会教育等、特色ある研究・研修、教育実践を発表
入場無料：要申込　７月１日より受付、定員になり次第締め切り
※　未就学児（２歳以上）の保育あり（定員有、要電話予約）
※　公共交通機関をご利用ください。
TEL０42－７５６－３４４３（FAX０４２－７５８－８１４６）

あなたの貴重な教育実践を発信しませんか！？

平成２４年度教育実践研究論文募集



応募期間：６月１日～１０月３１日
（論文の締切は１月１０日）
応募資格：市内在住・在勤の方
応募方法：所定の応募用紙に必要事項を記入し、ＦＡＸ、郵便、または直接提出

論文について
Ａ４版、２０字×４０行の２段組、６枚以上８枚以下となります。

詳しくは、総合学習センター研究・研修班までお問い合わせください。
電話：042-756-0290（または 042-756-3443）　ＦＡＸ：042-758-8146